

予約時間	遊べる時間と定員	予約方法
① 9:20～10:05	<ul style="list-style-type: none"> 各時間帯、先着3組 子ども1名、大人1名につき1組 (子ども2名の場合は2組分の予約) 各時間の間に消毒・換気を行っています。 午前利用は未就園児が優先です。幼稚園、保育園児は電話でお問い合わせ下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 電話でのみ受付いたします。
② 10:35～11:20		
③ 13:00～13:45		
④ 15:00～16:30 この時間帯で45分間		



センター利用は引き続き予約制で行ってまいります。状況により予定を変更、中止させていただく場合もありますのでご了承ください。市のホームページでもご確認下さい。

来館の時はインターホンを押してください。不審者対策のため、ご協力をお願いします。

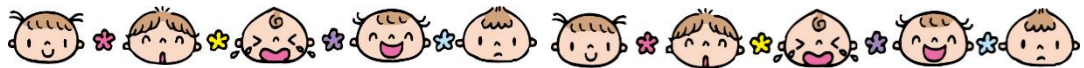
- ★来館時に体温計測を実施します。
- ★37.5度以上の発熱や咳、くしゃみ、鼻水などの症状がある場合は利用をお断りする場合があります。
- ★来館時や、トイレの後は、石鹸での手洗い及びアルコール消毒をお願いします。親子ともに館内では必ずマスクを着用して下さい。(原則2歳以上)
- ★使用できるおもちゃは限られた物のみとなりますのでご了承下さい。

安心して利用出来るよう、皆様のご協力をお願い致します。

育児相談や訪問相談、電話での相談も毎日行っています。一人で悩まず、お気軽に声をかけて下さい。(訪問は要予約)

おねがい

- *センター内では、貴重品は必ず身につけておいてください。
- *子どもさんに名札をつけてください。
- *ゴミ、紙おむつ、汚物は各自で持ち帰りください。
- *水分補給は大事です、お茶や湯冷ましを持ってきましょう。
(ジュースやお菓子等は、持ってこないでください。)



四条子育て支援センター

大東市野崎1丁目6番35号

TEL / FAX 072-876-7510

【Email】shisien.hoiku@city.daito.lg.jp

開館日 月曜日～土曜日(日曜祝日及び年末年始は休館です)

暴風警報、大雨警報、特別警報発令時は臨時休館

利用時間 午前9時～午後5時まで

利用対象 大東市在住の就学前の乳幼児と保護者・妊婦

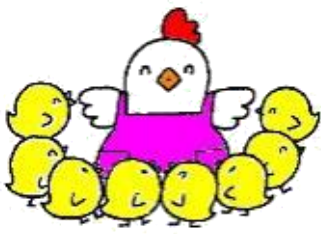


最寄駅: JR 学研都市線 野崎駅から徒歩3分
※駐車場はありません

貸し出し絵本



小さな図書室ですが、親子でゆっくり絵本の世界を楽しんでください。
貸出期間は 2週間で3冊まで借りられます。



ひよっこだより



NO. 123 2022年12月・2023年1月号

大東市立四条子育て支援センター

早いもので今年も残すところ後ひと月。どんな一年でしたか。

感染症でできなかった事や人数制限などでご迷惑をおかけしましたが、元気な子どもたちの笑顔に会えて楽しい一年でした。新しい年も子どもたちと楽しく遊べますように。よろしくお願ひいたします。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、講座・通常利用は引き続き電話での予約制です。

講座の予約は午後1時～5時の間で電話にて受け付けています。

“ベビーサイン
&ヨガ”
赤ちゃんと一緒に
心も体もリラックス
できました。



“マタニティー
サロン”
ひと針ひと針に
心を込めて
かわいいスタイ
ができました。



“ハロウィン”
ねこの帽子とカボチャ
のマントをつけて「トリッ
クオアトリート！」



“ひよっこ秋祭り”

ワニワニパニック、魚釣り、自動販売機(ボール転がし)、ビンゴゲームの後は
子どもみこしを担いで公園を練り歩きました。

子どものやけど、 気をつけて！

0～1歳のやけどが最も多い

やけどで救急車で運ばれた人のうち、最も多いのが1歳児、次いで0歳児です。やけどというとストーブやアイロンを思い浮かべるかもしれませんが、いちばん多い原因は、みそ汁やスープなどの熱い食べ物。やけどはちょっとしたすきに起こるので、注意しましょう。



炊飯器の蒸気に
触れてやけどした

電気ポットのコードを
引っぱって落下させ、
お湯がかかった

対策 加熱する電化製品は、手の届かない場所に置き、コードに引っかからないよう注意しましょう。

こんなことに
注意!

食卓に置いた、熱い
みそ汁の入ったおわんを
ひっくり返した

対策 熱いものは子どもの手の届かない場所に置き、子どもの食事は冷ましてから食卓へ。また、だっこしたまま調理したり、熱いお茶などを飲んだりするのもやめましょう。

すぐ冷やして!



子どもがやけどをしたときは、すぐに流水で冷やします。衣類を着ているときは、服の上から水をかけましょう。水ぶくれができたときや、やけどの範囲が広いときは病院へ。